

■環境経営活動レポート■

株式会社 フクナン開発

Environmental Management Report 2022

2022年9月1日~2023年8月31日
2024年3月1日発行

エコアクション21
認証番号 0003049

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

目次

1　はじめに ……2

2　会社概要 ……3

2.1　各施設の許可と概要 ……4

2.2　収集運搬業の許可と概要 ……10

2.3　建設業許可 ……11

3　フクナン開発 × SDGs ……12

4　環境経営活動報告 ……15

5　環境経営方針 ……16

6　実施体制 ……17

7　年間の活動 ……18

8　環境経営目標・計画 ……19

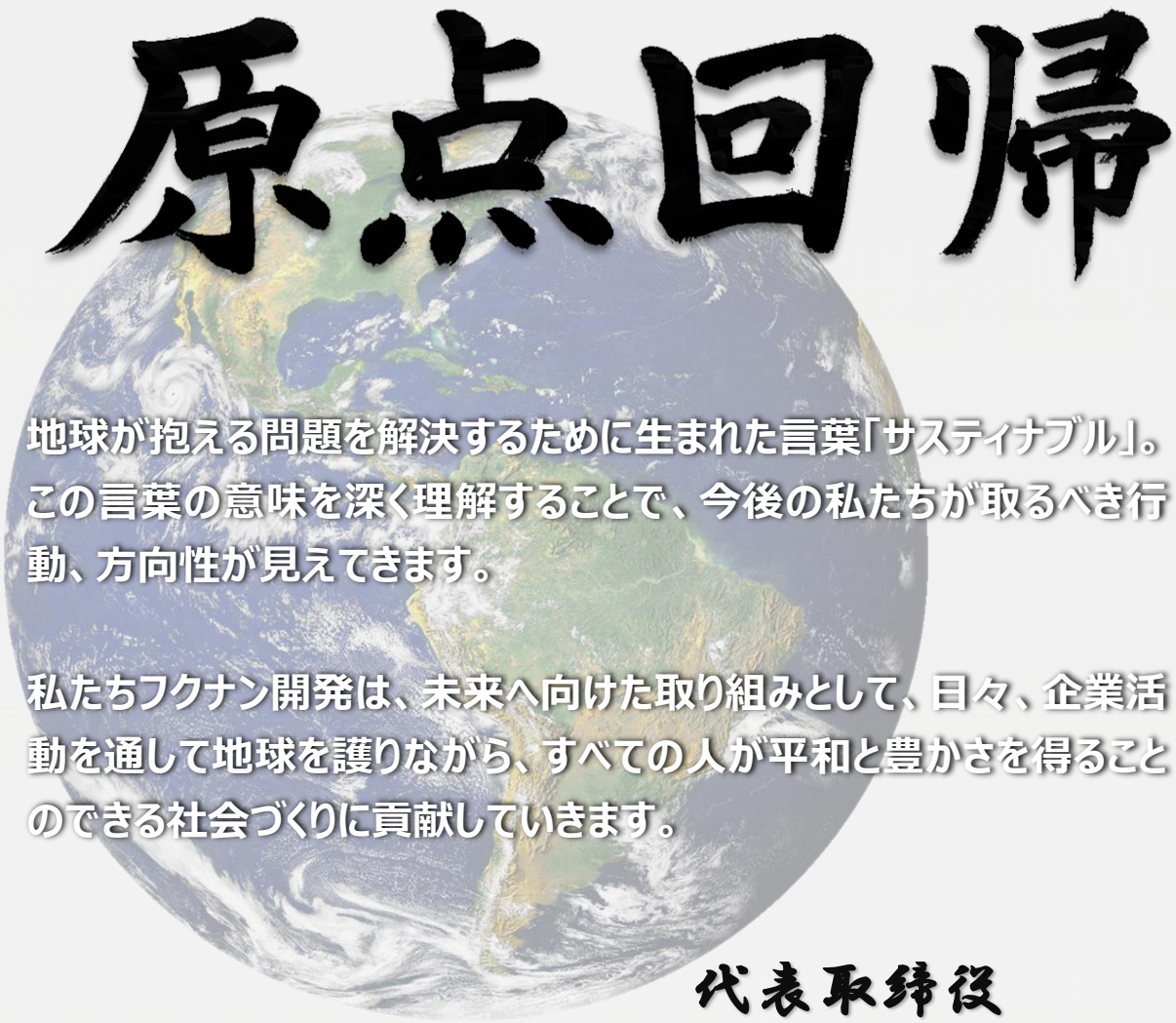
9　環境活動の実績報告 ……21

10　環境関連法規への違反・訴訟の有無 ……34

11　次年度の環境経営目標と環境経営計画 ……35

12　代表者による全体の取組状況の評価及び見直しの結果 ……36

はじめに



原点回帰

地球が抱える問題を解決するために生まれた言葉「サスティナブル」。この言葉の意味を深く理解することで、今後の私たちが取るべき行動、方向性が見えてきます。

私たちフクナン開発は、未来へ向けた取り組みとして、日々、企業活動を通して地球を護りながら、すべての人が平和と豊かさを得ることのできる社会づくりに貢献していきます。

代表取締役
中川原　孝

■フクナン開発と SDGs■

SDGs「持続可能な開発目標」は、2015 年に国連によって採択され、先進国や発展途上国の未来へ向けた明確な行動指針となりました。しかし、ネットワークの発展により社会的な問題が身近に認識され、浮き彫りとなった現在、この活動の必要性は、政府や自治体だけにとどまらず、民間企業においても急速な広がりを見せています。

SDGs が世界の共通認識となった今、大企業に限らず、中小企業もまた安易に自己満足に陥ることなく、事業活動をよりグローバルに捉えるとともに、一つ一つの行動に社会に対する責任と意味、意識付けを行う必要があると考えます。

産業廃棄物処理業は、環境問題に対し、より多くの課題を抱え、その解決を求められる存在でもあります。これまでフクナン開発は、エコアクション２１の認定活動を通して、弊社独自の視点と努力により、環境についての配慮を行ってまいりました。しかし、SDGs との出会いにより、自社だけの取り組みのみならず、周囲との問題意識の共有と協力がより豊かな社会への第一歩になると考えるようになりました。

目標達成期限となる 2030 年に向け、自社の更なる発展と豊かな社会の実現のため、リーダーシップを意識し、模範となるような活動方針と取り組みを打ち出していきます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS SDGs
―持続可能な開発目標―

フクナン開発

会社概要



株式会社 フクナン開発

事業所名	株式会社　フクナン開発
代表者氏名	代表取締役　　中川原　孝
所在地	【本社】〒830-0062　福岡県久留米市荒木町白口 1602 番地 【上津中間処理場】〒830-0052　福岡県久留米市上津町 2066-5 【南部リサイクルセンター】〒830-0111　福岡県久留米市三潴町壱町原 37-1 【八女中間処理場】〒834-0011　福岡県八女市長野字東之谷 1916-27
環境経営管理責任者	事業統括本部長　田中　誠
連絡先	ＴＥＬ：0942-26-0755 ＦＡＸ：0942-26-0705 Ｅメールアドレス：dust62-9@abeam.ocn.ne.jp ＨＰ：http://www.fukunan-g.com
事業の内容	一般廃棄物及び産業廃棄物・特別管理産業廃棄物の収集運搬業、 産業廃棄物中間処理業（破砕・選別・焼却・混練・圧縮梱包）、 解体業
事業の規模	年間売上高　11.47 億　（産廃部門 10.62 億・解体工事部門 0.84 億） 従業員数　29 名 収集運搬量　6.52 万㎥（産業廃棄物）・ 113 ㎥（一般廃棄物） 搬入量　8.81 万㎥ 搬出　4.36 万㎥ リサイクル量　4.2 万㎥　　（2022 年度実績）
法人設立年月日	昭和 62 年 9 月 3 日
資本金	５００万円
事業年度	9 月～翌年 8 月

エコアクション 21 認証番号 0003049
エコアクション 21 取得

子育て応援宣言企業

エコ事業所登録

優良
優良産廃処理業者認定

【圧縮梱包施設】

設置場所	福岡県久留米市上津町字蓮ノ池 2062 番 1 外 3 筆	
設置年月日	令和 2 年 8 月 8 日	
処理能力	廃プラスチック類	140t/日（8 時間）
	金属くず	642t/日（8 時間）
	紙くず	200t/日（8 時間）
	木くず	177t/日（8 時間）
	繊維くず	85.2t/日（8 時間）
	ゴムくず	167t/日（8 時間）

許可一覧

取得地	許可番号	有効年月日	処理方法	廃プラ	金属くず	紙くず	木くず	ガラスくず	繊維くず	がれき類	ゴムくず
久留米市㊭	第 11220014528 号	平成 29 年 5 月 19 日 ～ 令和 6 年 5 月 18 日	選別	●	●	●	●	●	●	●	●
			破砕	●		●	●		●		●
			圧縮梱包	●	●	●	●		●		●

破砕機



圧縮梱包機



ENVIRONMENT AND SOCIETY

最終処分場と隣接し、迅速な処理を実現した
総合処理施設

八女中間処理場

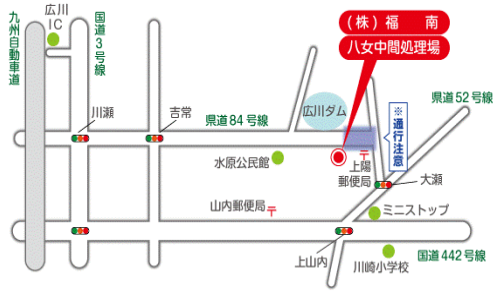


■取扱品目
廃プラ / 紙 / 木 / 繊維 / ゴム / がれき / 金属 / ガラス陶磁器 / 石膏ボード / 燃え殻 / 廃塗料 / 動植物性残さ / 汚泥

■処理方法
選別 / 破砕 / 混練 / 焼却

■認定
優良

■MAP■



所在地
〒830-0011
福岡県八女市長野字東之谷 1916 番 27

許可取得地
福岡県

許可番号
第 04020014528 号

施設概要

【選別施設】

設置場所	福岡県八女市長野字東之谷 1916 番 27	
設置年月日	平成 22 年 6 月 25 日	
処理能力	混合廃棄物	16.6t/日（8 時間）
	燃え殻	75.6t/日（8 時間）

【破砕施設】

取扱品目	木くず
設置場所	福岡県八女市長野字東之谷 1916 番 23 外 2 筆
設置年月日	平成 23 年 4 月 5 日
処理能力	3.70t/日（8 時間）

【破砕施設】

取扱品目	廃プラスチック類、紙くず、繊維くず	
設置場所	福岡県八女市長野字東之谷 1916 番 27	
設置年月日	令和 4 年 11 月 12 日	
処理能力	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	4.09 t /日（8 時間）
	紙くず	3.97 t /日(8 時間)
	繊維くず	1.62 t /日(8 時間)

【混練施設】

取扱品目	廃塗料
設置場所	福岡県八女市長野字東之谷 1916 番 28
設置年月日	平成 22 年 11 月 20 日
処理能力	3.2 t /日（8 時間）

【焼却施設】

設置場所	福岡県八女市長野字東之谷 1916 番 27 外 1 筆		
設置年月日	平成 25 年 3 月 22 日		
処理能力	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	7.15kg/時	0.0572t/日(8 時間)
	汚泥	33.5kg/時	0.268t/日(8 時間)
	紙くず	15.9kg /時	0.127t/日(8 時間)
	木くず	15.6kg/時	0.124t/日(8 時間)
	繊維くず	17.0kg/時	0.136t/日(8 時間)
	動植物性残さ	39.1kg/時	0.312t/日(8 時間)
	ゴムくず	8.36kg/時	0.0669t/日(8 時間)

許可一覧

取得地	許可番号	有効年月日	処理方法	廃プラ	金属くず	燃え殻	紙くず	木くず	ガラスくず	繊維くず	がれき類	ゴムくず	廃石膏ボード	汚泥	廃塗料	動植物性残さ
福岡県㊇	第 04020014528 号	令和 4 年 10 月 26 日 ～ 令和 11 年 10 月 25 日	選別	●	●	●	●	●	●	●	●	●				
			破砕	●			●	●		●						
			焼却	●			●	●		●		●		●		●
			混練												●	





一般的な廃棄物をはじめ、廃乾電池や廃蛍光管の
処理も行う取扱品目の充実した処理施設

南部リサイクルセンター



■取扱品目 廃プラ 紙 木 繊維 ゴム がれき 金属 ガラス陶磁器 石膏ボード 燃え殻 乾電池 蛍光管

■処理方法 選別 破砕

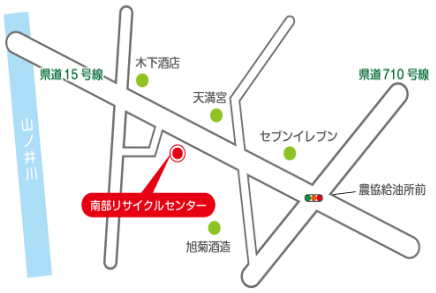
■認定 優良

所在地
〒830-0115
福岡県久留米市三潴町壱町原 37-1

許可取得地
久留米市

許可番号
第 11220014528 号

■MAP■



施設概要

【選別施設】

設置場所	福岡県久留米市三潴町壱町原字蓮輪 35 番
設置年月日	平成 27 年 6 月 13 日
処理能力	建設系混合廃棄物　17.2t/日（8 時間）
	燃え殻　75.6t/日（8 時間）

【破砕施設】

取扱品目	廃乾電池	
設置施設	福岡県久留米市三潴町壱町原字蓮輪 37 番 1	
設置年月日	平成 27 年 11 月 3 日	
処理能力	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	1.7t/日（8 時間）
	汚泥	5.5t/日（8 時間）
	紙くず	0.85t/日（8 時間）
	木くず	2.7t/日（8 時間）
	繊維くず	0.6t/日（8 時間）
	ゴムくず	2.6t/日（8 時間）
	金属くず	5.6t/日（8 時間）
	ガラスくず等	3.5t/日（8 時間）

【破砕施設】

取扱品目　廃蛍光管(水銀使用製品産業廃棄物を含む)
設置施設　福岡県久留米市三潴町壱町原字蓮輪 36 番 2 外 1 筆
設置年月日　平成 27 年 11 月 3 日
処理能力　2.0t/日（8 時間）

取扱品目　廃石膏ボード
設置施設　福岡県久留米市三潴町壱町原字蓮輪 35 番
設置年月日　平成 22 年 3 月 29 日
処理能力　4.1t/日（8 時間）

許可一覧

取得地	許可番号	有効年月日	処理方法	廃プラ	金属くず	燃え殻	紙くず	木くず	ガラスくず	繊維くず	がれき類	ゴムくず	廃石膏ボード	廃蛍光管	廃乾電池
久留米市㊍	第 11220014528 号	平成 29 年 5 月 19 日 ～ 令和 6 年 5 月 18 日	選別	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
			破砕										●	●	●

グループ会社の紹介

フクナン開発は、グループ関連会社を通じて
より適切に、よりスムーズに処理を実現しております。

㈱TMジャパン

TMJ

【本社】 〒810-0021
福岡市中央区今泉 2 丁目 5-28
【処理施設】 〒811-0102
福岡県糟屋郡新宮町大字立花口 412-1
【処理方法】 （中間処理）選別・破砕
【TEL】 092-941-5055
【FAX】 092-941-5557
【HP】 http://tm-j.com



糟屋郡に処理施設を構え、福岡県北部を中心に
事業展開する産業廃棄物収集運搬業・処分業

㈱TMPlannig

TMP

【本社】 〒810-0021
福岡市中央区今泉 2 丁目 5-28
【事業内容】1.コンサルタント事業
2.アウトソーシング事業
3.環境分析事業
4.マッチング事業
【TEL】 092-707-2075
【FAX】 092-406-3077
【HP】 tmplan.co.jp/index.html



産業廃棄物の処理における様々な問題を
トータルに解決・サポートするコンサルタント事業

㈱福南

【本社/処理施設】
〒834-0011
福岡県八女市長野 1939-3
【処理方法】
（中間処理）選別・造粒固化
（最終処分）安定型埋立
【TEL】 0943-32-5553
【FAX】 0943-32-6023
【HP】 http:// www.fukunan-g.com



フクナン開発八女処分場に隣接する最終処分場
安定型埋立場を常設し、再生ブロックも製造

収集運搬業の許可と概要



保有車両（R4 年 9 月時点）

W キャブ	1 台	4 t パッカー	1 台	7 t マルチリフト	1 台	10 t アームロール	1 台
2 t フックロール	2 台	4 t ユニック	2 台	8 t クラム	2 台	12 t ダンプ	1 台
2 t ダンプ	1 台	4 t クラム	1 台	10 t ダンプ	2 台	トラクタ	4 台
3 t ユニック	2 台	7 t フックロール	1 台	10 t ユニック	1 台	トレーラ	2 台
4 t フックロール	2 台	7 t クラム	1 台	10 t フックロール	1 台	軽トラ	1 台
4 t アーム	1 台						

合計 31 台

産業廃棄物収集運搬業許可一覧

取得地	許可番号	有効年月日	汚泥	廃酸	廃アルカリ	廃油	廃プラ	金属くず	燃え殻	ばいじん	ダスト類	鉱さい	紙くず	木くず	動植物性残さ	ガラスくず	コンクリート及び陶磁器くず	家畜糞尿	動物の死体	繊維くず	がれき類	ゴムくず	第13号廃棄物	石綿含有産業廃棄物
福岡県㊐	第 04000014528 号	令和 5 年 3 月 16 日 令和 12 年 3 月 15 日	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●			●	●	●		●
山口県㊐	第 03500014528 号	令和 5 年 2 月 24 日 令和 12 年 1 月 15 日	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●			●	●	●		●
佐賀県㊐	第 04101014528 号	令和 5 年 5 月 13 日 令和 12 年 5 月 12 日	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●			●	●	●		●
大分県㊐	第 04407014528 号	平成 29 年 6 月 6 日 令和 6 年 6 月 5 日	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●			●	●	●		●
長崎県㊐	第 04200014528 号	令和 5 年 6 月 28 日 令和 10 年 6 月 27 日	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●			●	●	●		●
熊本県㊐	第 04305014528 号	令和 5 年 4 月 19 日 令和 12 年 4 月 18 日	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●			●	●	●		●
宮崎県㊐	第 04504014528 号	令和 5 年 5 月 9 日 令和 12 年 5 月 8 日	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●			●	●	●		●
鹿児島県㊐	第 04605014528 号	令和 5 年 2 月 26 日 令和 12 年 2 月 25 日	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●			●	●	●		●

特別管理廃棄物収集運搬業許可一覧

取得地	許可番号	有効年月日	引火性廃油	引火性廃油※	廃油※	強酸	強酸※	廃酸※	強アルカリ	強アルカリ※	廃アルカリ※	汚泥※	燃え殻※	ばいじん※	鉱さい※	13号廃棄物※	感染性廃棄物	廃石綿等						
福岡県㊧	第 04050014528 号	平成 30 年 2 月 22 日 令和 7 年 2 月 21 日															●	●						
熊本県㊧	第 04355014528 号	平成 30 年 3 月 16 日 令和 7 年 3 月 15 日																●						

※印は「有害」

一般廃棄物収集運搬業許可一覧

自治体	許可番号	有効年月日	事業系可燃性ごみ	燃やせるごみ	空き缶	空き瓶	ペットボトル	登録車両番号	区域
八女市	No.15	令和 5 年 1 月 20 日 令和 6 年 3 月 31 日	●					久留米 830 そ 2006	旧八女市内
久留米市	第 1057 号	令和 4 年 4 月 1 日 令和 6 年 3 月 31 日		●	●	●	●	久留米 100 す 4012 久留米 400 そ 4780	久留米市(田主丸町を除く)の区域

建設業許可

自治体名	許可番号	有効年月日	種類
福岡県知事	（般-30）第 103245 号	平成 30 年 12 月 1 日 平成 35 年 11 月 30 日	土木工事業 舗装工事業 解体工事業 とび･土木工工事業 しゅんせつ工事業



フクナン開発

■環境経営活動■

×

SDGs

―持続可能な開発目標―

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGsとは

■豊かさの持続する社会を目指す世界共通の目標■

SDGs は「Sustainable Development Goals website」の略称であり、持続可能な開発目標を示し、正式な名称は「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための 2030 年アジェンダ」となっています。

2001 年に策定され、2015 年に達成期限を迎えたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015 年 9 月の国連サミットで採択されました。

17 のゴール・169 のターゲットから構成され、「地球上の誰一人として取り残さないこと（leave no one behind）」を誓い、2016 年から 2030 年までの期間で、その目標達成を目指します。SDGs は発展途上国のみならず先進国自身も取り組む課題として、普遍的なものとなっています。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS **SDGs**

―持続可能な開発目標―



■SDGsの３つのキーワード■



SDGsの導入

フクナン開発

■フクナン開発のSDGsに向けた取り組み■

現在 SDGs の活動において、大企業や製造業などによる自社エコ商品の開発や、そのための技術導入などが注目される中、フクナン開発は、業種や事業規模によらない中小企業による SDG s 活動のモデルとして、

【関連会社とのリレーションによる SDGs】

に着目しました。

自社単独で目標の達成に向かうよりも、他社と共有し合い、互いに配慮し合うことで、

①自主的 SDGs の達成
②協力的 SDGs の達成
③相乗的 SDGs の達成

が期待できると考えます。

フクナン開発と SDGs

■自主的 SDGs の達成
■協力的 SDGs の達成
■相乗的 SDGs の達成

①関連会社とのリレーションによる SDGs

関連会社（排出業者･処分業者）との SDGs 活動の共有を通して、相乗効果を生み出し、SDGs の普及･達成、Win-Win を構築する

フクナン開発 SDGs リレーション目標



②自社活動目標と SDGs

エコアクション 21 認定活動、SDGs の取組みによる活動、社会貢献などを通じて、社会的信頼を獲得し、継続的な事業の拡大と長期安定、雇用環境の充実などを目指す

フクナン開発 自社活動目標と SDGs の紐づけ



SDGs には取り組みたいが、
何をしたら良いか、よくわからない…

フクナン開発の
SDGs 商品・サービス

フクナン開発は、そういった企業様のために、
気軽に取り組むことのできる
SDGs 向け商品・サービスがあります。

紙資源・経費の削減に

電子契約
TM 電子マニフェスト

産業廃棄物の廃棄に係る法的書類は、電子書面にて行うことが可能です。その手続き・作成のお手伝いをしています。

■電子契約のメリット■

- 印紙が不要
- 書類の保管場所が不要
- インターネットがあれば
  どこからでもアクセス可能
- 締結までがスピーディー
- データ管理・整理が容易
- 郵送代などの節約が可能
- 紛失や保管期限の
  心配が不要

■電子マニフェストのメリット■

- 書類の保管場所が不要
- インターネットがあれば
  どこからでもアクセス可能
- 処理日などがリアルタイムで
  反映される
- データ管理・整理が容易
- 郵送代などの節約が可能
- 紛失や保管期限の
  心配が不要

廃棄物の処理・削減に

環境コンサルティング

安心して事業に専念いただけるよう、事業から排出される
産業廃棄物の処理をトータルにサポートします。

1. コンサルタント事業
産業廃棄物の処理やリサイクル・再資源化についての総合的なご相談に応じています。

2. アウトソーシング事業
廃棄物管理業務を一元管理し、煩雑な事務作業を軽減いたします。

3. 環境分析事業
産業廃棄物を適正に処分・管理するための分析を行います。

4. マッチング事業
事業者様の希望に沿った処理業者を弊社独自のネットワークを基に選定、橋渡しいたします。

●お問合せ先●
フクナン開発　本社　TEL：0942-26-0755

㈱フクナン開発
環境経営活動報告
【2022 年度】

対象期間：2022 年 9 月 1 日～2023 年 8 月 31 日
対象範囲：全組織･全活動及びその全従業員



環境経営方針

【基本理念】

■ 株式会社フクナン開発は、地球環境保全における産業廃棄物処理業者・解体業者としての社会的役割と責任を認識し、環境経営活動の継続的向上に努めます。

■ 排出業者・委託処理業者（ステークホルダー）との協力体制による環境改善の重要性を訴え、他社の CSR 活動へ資すると共に相乗的な企業力向上の実現を目指します。

■ 「持続的な『低炭素社会』『循環型社会』『自然共生社会』の実現」を環境経営目標の柱とし、実現に向けた組織の構築、計画の策定、社員の育成を行います。

■ 全員参加によるエコアクション２１認定活動を通して、地域社会における環境負荷の削減と地球全体に対する環境配慮に尽力していきます。

【行動指針】

Ⅰ．持続的な「低炭素社会」「循環型社会」「自然共生社会」の実現に向けた取組を行います。

1.「低炭素社会」実現に向けた取組
   (1) 電気使用量の削減
   (2) ガソリン・軽油の効率的使用
2.「循環型社会」実現に向けた取組
   (1) 廃棄物排出量の削減
   (2) 水道使用量の削減
3.「自然共生社会」実現に向けた取組
   (1) 排水に対する環境配慮
   (2) 事業活動における環境保全

Ⅱ．環境経営システムの構築、環境経営方針・目標の周知、教育訓練の実施により、全社員の環境に対する理解と意識の向上を図ります。

Ⅲ．環境関連法規等及びエコアクション 21 の要求事項の定期的なチェックと遵守に努めます。

Ⅳ．周囲の清掃活動や環境への配慮、災害ごみや海洋ごみの受入・処理等を通して、地域・社会への貢献に努めます。

Ⅴ．SDGｓ～持続可能な開発目標～の普及と推進に取り組みます。

Ⅵ．年度ごとに環境経営レポートを作成し、自社環境経営活動の取組状況を公表します。

制定日 平成 24 年 10 月 12 日
改定日 令和 2 年 2 月 1 日

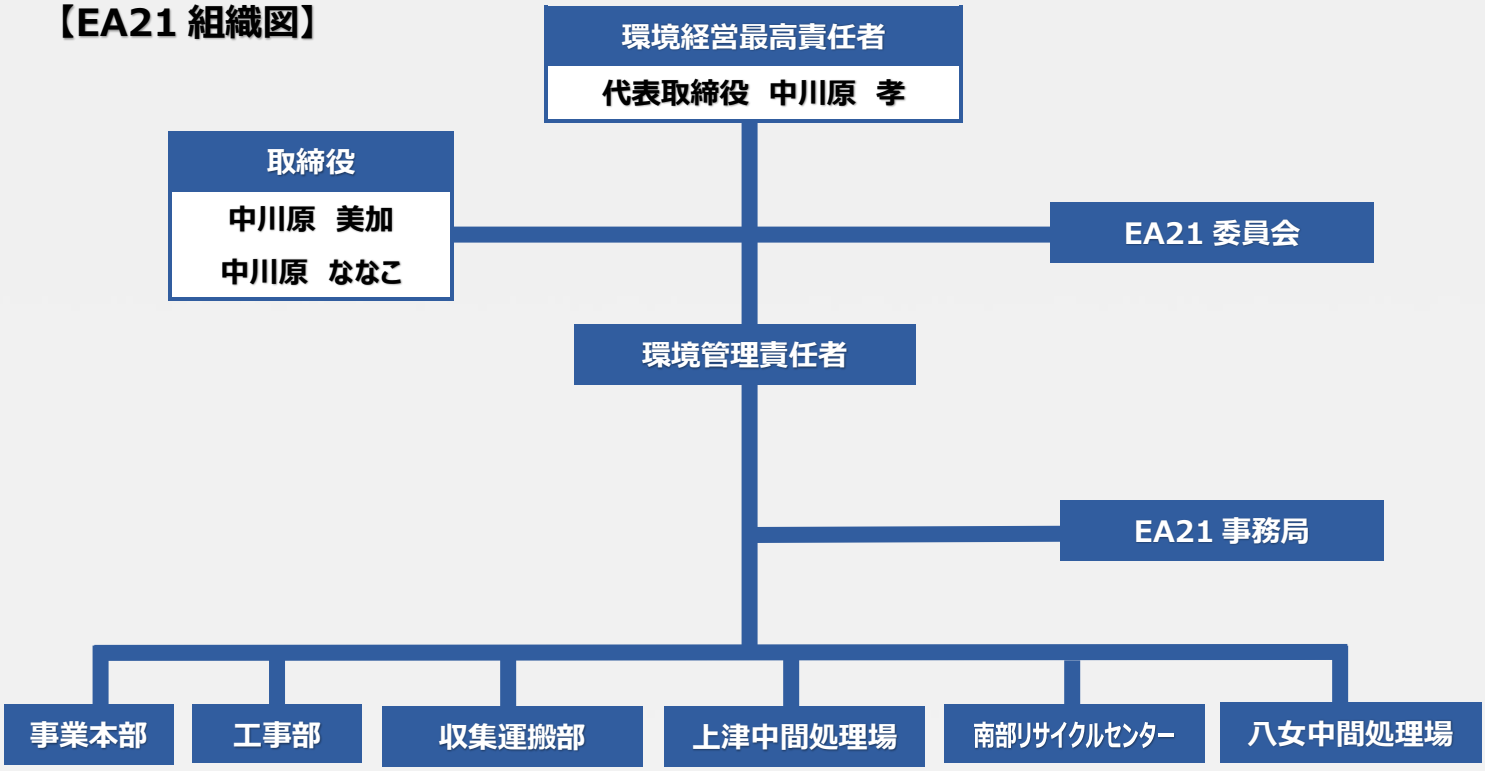
株式会社 フクナン開発

代表取締役 中川原 孝

実施体制

改定日：令和５年９月１日
制改正責任者：田中　誠
従業員数：29 名

【EA21 組織図】



【役割分担表】

役職・所属	主な役割
環境経営最高責任者	全体統括、環境経営方針制定、環境経営活動を実施するための実施体制の構築と資源準備、全体の評価と見直し
環境管理責任者	環境経営活動の管理・指導・運営、環境経営システムの構築・運用、環境教育訓練の計画策定と実施、活動結果の取りまとめと報告
EA21 委員会	定期開催（年度開始時、年度終了時、各期終了時） 環境経営システムの運営と管理 ・活動結果の取りまとめと改善点の協議 ・実施体制の構築 ・環境経営活動計画と目標の策定と見直し ・環境教育訓練計画の策定と見直し ・環境への取組自己チェック ・法改正の確認・連絡 ・各点検表・記録簿のチェック ・苦情・要望等の確認と協議 ・各種マニュアルの検討 ・社内掲示と全従業員への報告・周知活動
EA21 事務局	環境経営活動に関する文章及び記録類の作成・維持・管理、広報、環境経営活動レポートの作成、EA21 審査の段取りと準備
処分場責任者・部門 EA21 責任者	担当事業所の環境経営活動の管理・指導・運営、活動報告、各種書類の記録・維持・管理、担当事業所の環境教育
全従業員	全員参画による環境経営活動の従事と持続

年間の活動

フクナン開発は環境経営に PCDA サイクルを積極的に取り入れています。Plan（計画）→ Do（実行）→ Check（評価）→ Act（改善）の 4 段階を繰り返すことによって、自社が社会に与える環境負荷を継続的に改善できるよう尽力しています。
また、2008 年にはエコアクション 21 の認定を取得し、定期的な専門機関の指導と評価を受けるかたわら自社環境活動の積極的な公表も行っています。

■ PDCA サイクルによる年間の活動 ■

1 Plan　実施体制の確立と担当・チームの選定

2 Plan　前年までの活動の見直しと今年度の目標の設定

3 Plan　行動計画のリストアップと SDGs との紐づけ

4 Do　社内周知と実施及び運用

5 Check　取組過程の記録と取組結果の評価

6 Act　代表者による全体の評価と見直し・指示

7 環境経営レポートの作成

●環境経営会議



各処分場、各部門担当者を中心に定期 EA21 委員会を開催しています。環境負荷の現状の把握や目標の見直しなどを細やかに行い、それぞれの業務に沿った活動を提案しています。

●全体朝礼による目標周知

月 1 回の代表者を交えた全体朝礼で、従業員全体に環境目標や成果の報告をしています。みんなで取り組む環境活動を大切にし、それらの活動を通して、社会貢献、利益の向上を目指しています。



●活動



各処分場、各部門毎に業務に沿った環境活動を実施していきます。エコにつながる活動以外にも、定期清掃活動などの地域貢献も積極的に行っています。（写真は、車両のエコドライブ定期点検の様子）

●活動結果の報告

活動集計・報告は、3 か月に 1 度行っています。各処分場にも掲示コーナーを設けている他、最近では、インターネットによる社内掲示板の利用を積極的に行い、掲示物自体の紙資源削減にも取り組んでいます。



環境経営目標・計画

■環境経営項目と活動目標■

環境経営項目と主な取組			活動目標
Ⅰ-1.「低炭素社会」実現に向けた取組	⑴電気使用量の削減	・事務所における節電	毎年 1%削減
		・処理施設内の機械の定期点検・修理・管理の徹底	
	⑵ガソリン・軽油の効率的使用	・エコドライブの徹底	毎年 1%向上
		・配車効率の向上	
		・車両・重機・リフトの定期点検及び重機の入替・修理・管理の徹底	
Ⅰ-2.「循環型社会」実現に向けた取組	⑴廃棄物排出量の削減	・電子媒体利用による紙資源の削減	毎年 1%削減
		・再生品の利用徹底	
		・事業所一般ごみの削減、分別・リサイクルの推進	
	⑵受託した産業廃棄物・解体廃棄物の資源化率の向上	・選別の徹底	毎年 1%向上
		・処理工程の定期的見直し	
	⑶水道使用量の削減	・上水道・トイレなどの一般使用水の節水	毎年 1%削減
		・自然水の利用	
Ⅰ-3.「自然共生社会」実現に向けた取り組み	⑴受託した産業廃棄物・解体廃棄物の最終処分量の削減	・選別の徹底	毎年 1%削減
		・処理工程の定期的見直し	
	⑵排水に対する環境配慮	・洗剤や食べ残しごみ、油などによる汚水流出の削減	常時
		・地下水使用による排水路の徹底清掃	週一回以上
	⑶事業活動における環境保全	・解体現場・産廃処理による埃・粉塵などの飛散防止	常時
		・会社周辺の定期的清掃活動実施	週 1 回以上
		・解体現場周辺の清掃	随時
		・排出ガス・騒音・振動の配慮	常時
Ⅱ.環境経営管理システムの構築と環境教育		・実施体制の構築	年一回以上
		・環境経営計画と目標の策定	年一回以上
		・環境経営活動結果の取りまとめと報告	各期（3 か月）毎
		・年次環境教育訓練計画の策定	年 1 回以上
		・定期的な EA21 委員会の開催と各部門責任者による全社員への周知	各期（3 か月）毎
		・緊急時対応訓練の実施と対応マニュアルの作成	年 1 回以上
		・環境経営方針とその他掲示物による環境意識の啓発	随時
		・環境に関する苦情や要望の対応	随時
		・講習会・勉強会への積極的参加	随時
Ⅲ.環境関連法規の遵守		・法改正の定期的チェック	随時
		・EA21 委員会による監査と結果の周知	各期（3 か月）毎
Ⅳ.地域・社会への貢献	⑴ 地域への貢献	・会社周辺の定期的清掃活動の実施	週一回以上
	⑵ 社会への貢献	・災害ごみや海洋ごみの積極的受入・処理	随時
	⑶ ボランティア活動	・使用済み切手の社内回収・寄付	年一回
Ⅴ.SDGs～持続可能な開発目標～の普及と推進		・電子契約・電子マニフェストの推進	随時
		・環境コンサルティング事業の拡大	随時
Ⅵ.環境経営の周知と公表		・環境経営レポートの作成と公表	年 1 回以上

■環境経営数値目標■

Ⅰ.「低炭素社会」実現に向けた取組

環境目標	該当事業所	数値の根拠【単位】	【基準値】	【目標】		
			R1 年度実績	R2 年度	R3 年度	R4 年度
二酸化炭素排出量の削減	全社	kg-CO_2	904,700	895,653	886,606	877,559

環境目標	対象	該当事業所	数値の根拠【単位】	【基準値】	【目標】		
				R1 年度実績	R2 年度	R3 年度	R4 年度
電気使用量の削減	電灯	全社	【kWh】	53,652	53,115	52,581	52,145
		事業本部	各処分場の電気使用量【kWh】	18,162	17,980	17,799	17,617
		上津中間処理場		10,584	10,478	10,373	10,270
		八女中間処理場		7,052	6,981	6,912	6,940
		南部ﾘｻｲｸﾙｾﾝﾀｰ		17,854	1,7675	17,497	17,318
	動力	全社	電気使用量【kWh】	23,286	23,053	70,697	69,980
		上津中間処理場	各処分場の電気使用量【kWh】	18,280	18,097	65,791	65,125
		八女中間処理場		1,285	1,272	1,259	1,246
		南部ﾘｻｲｸﾙｾﾝﾀｰ		3,721	3,684	3,647	3,609
ガソリン使用量の削減	営業車	事業本部	ガソリン使用量【L】	2,443	2,419	2,394	2,370
軽油使用量の削減	車両	全社	全収集運搬車両の平均燃費【㎞/L】	4.16	4.20	4.24	4.28
	重機	全社	【L】	80,335	79,532	78,729	77,925
		上津中間処理場	各処分場の軽油使用量【L】	9,365	9,271	9,178	9,084
		八女中間処理場		30,320	30,016	29,714	29,410
		南部ﾘｻｲｸﾙｾﾝﾀｰ		40,650	40,243	39,837	34,431

Ⅱ.「循環型社会」実現に向けた取組

環境目標	該当事業所	数値の根拠【単位】	【基準値】	【目標】		
			R1 年度実績	R2 年度	R3 年度	R4 年度
コピー紙使用量の削減	全社	コピー紙使用量【枚】	110,000	108,900	107,800	106,700
事業所一般ごみの削減	全社	【㎥】	58.34	57.76	57.17	56.59
中間処理量に対する資源化率	全社	【%】	94.11	95.05	95.99	96.93
水使用量の削減	全社	【㎥】	209.50	207.41	205.31	203.22
	事業本部	【㎥】	147.00	145.53	144.06	142.59
	上津中間処理場		26.50	26.24	25.97	25.71
	南部ﾘｻｲｸﾙｾﾝﾀｰ		36.00	35.64	35.28	34.92

※電力の二酸化炭素排出係数は、九州電力 2021 年度　0.296kg-CO_2、日田ｸﾞﾘｰﾝ電力 2021 年度調整後排出係数 0.037 kg-CO_2を使用しました。

※化学物質使用の実績はありません。

※解体工事は外部委託のため、数値目標を設けておりません。

環境活動の実績報告
（2022 年度）



■事業活動と環境への影響■

自社に搬入された産業廃棄物の量やそのリサイクル率、処理・運搬に使用したエネルギー量、排出される炭酸ガス量などを把握して効率的な環境負荷低減を目指しています。

INPUT	事業活動	OUTPUT
エネルギー 動力　106,854kWh 破砕機等に使用した動力 軽油　147,152L 重機・場内車両等に使用	**中間処理** 全社処理量 88,124 m3 上津中間処理場　11,208m3 八女中間処理場　39,989m3 南部リサイクルセンター　36,927m3	**CO2 排出量** 3,866,676kg-CO2 動力　3,487,024kg/CO2 軽油　379,652kg/CO2
産業廃棄物搬入量 88,123m3 受託した産業廃棄物		**再資源化率** 82.6% 再資源化　42,199m3 最終処分　8,881m3 ※選別残さを含む
エネルギー 軽油　248,256L 重機・場内車両等に使用	**収集運搬** 運搬量 65,298m3	**CO2 排出量** 640,502kg-CO2
エネルギー 電灯　52,997kWh ガソリン　4,753L 営業車両等に使用	**その他の事業に伴う活動**	**CO2 排出量** 21,098kg-CO2 電灯　10,071kg/CO2 ガソリン　11,027kg/CO2
紙使用 111,000 枚		**一般廃棄物** 58.34m3 可燃ごみ・段ボールなど
用水 2012.60m3 上水・地下水		**排水** 2011.88m3

※地下水は測定機器の不具合により、一部計測できませんでした。

■「低炭素社会」実現に向けた取組■

世界的に問題となっている地球温暖化。フクナン開発は、その原因となる温室効果ガスの削減に力を入れています。

●「低炭素社会」実現に向けて

フクナン開発は、2019 年度新たに中期環境目標を設け、「低炭素社会」実現のために、電力、軽油、ガソリンにおいて、基準値（2018 年度実績）の毎年 1%削減を目指しています。

■フクナン開発の事業活動における温室効果ガスの主な発生源

電力

- ●電灯、空調、事務機器等の一般的使用
- ●破砕機などの機械使用

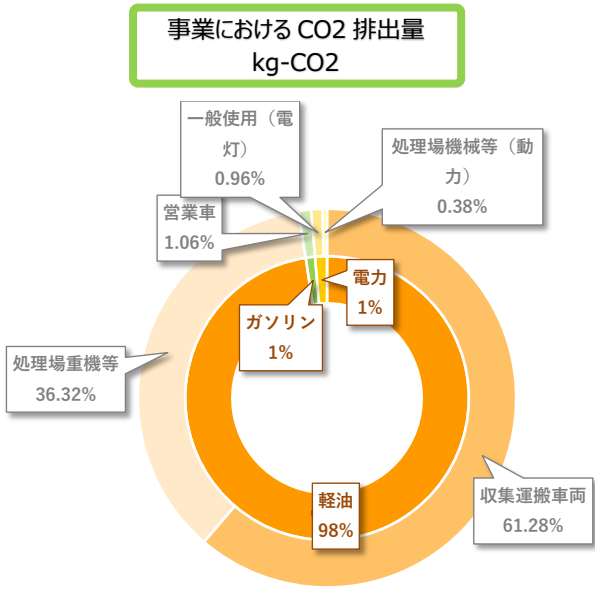
軽油

- ●収集運搬車両の使用
- ●処理場内のリフト等の重機使用

ガソリン

- ●営業車の使用

■温室効果ガスの内訳



※2022 年度実績データより

●電気使用量の削減

■事務所における節電

事務所における節電は、電灯や電源などのこまめなオン・オフが重要となってきます。地味な活動ですが、一人一人のエコ意識の高さが如実に求められます。
フクナン開発は、処分場ごとに数字目標と結果を掲示し、全員が節電を習慣化できるよう積極的に取り組んでいます。
また、毎年夏場には事務所の窓際にグリーンカーテンを設置し、涼を得るとともに、野菜の収穫なども楽しんでいます。

●主な取組

①クールビズ（28℃）・ウォームビズ（20℃）
②外出時（1 時間以上）のパソコンの電源オフ
③休憩時間や未使用時の消灯
④残業時の電灯のスポット使用
⑤退社時の不要コンセントの引き抜き
⑥ファン使用による空調の効率化
⑦退社時間予測による 30 分前のエアコン停止
⑧事務所窓際にグリーンカーテンを設置

■グリーンカーテン

八女処理場の事務所の窓際にグリーンカーテンを設置しました。今年は、キュウリとゴーヤが収穫できました。





■事務所設備の省エネルギー化

事務所の電灯は順次 LED 照明に交換しています。また、今年は古くなった空調設備の入替も行いました。



■処理施設の動力の削減

各処分場には、破砕機、圧縮梱包機など動力を使用した大型の機械が設置されています。無駄な電力の消費を防ぐために、徹底した機械の点検・修理・管理を心掛けています。また、処理効率を上げる工夫として、丁寧な選別を行うこと、混入のできない廃棄物の徹底した除去などを行っています。



新規導入された圧縮梱包機

●主な取組

①空調室外機の簡易点検（対象機種は要記録）
②処理機械の始業前点検・1 か月点検
③EA21 委員会による点検簿チェック

■社内 SNS による危険混入物、処理困難物の情報共有

フクナン開発では、機械の故障や無理な運転を招きかねない混入物や産廃物があった場合、その情報を社内 SNS で共有しています。また、無造作に捨てられた廃棄物は選別に困難を要する場合が多く、再資源化の妨げになります。こういった事例を提供し合い、収集時や事前の打ち合わせなど様々な場面で、排出事業者の方々に選別の協力をお願いしています。



実際に持ち込まれた処理困難物

■目標と実績及びその評価（2022 年度）

電灯（事務所における電気使用量）【kWh】

事業所	目標	実績	達成率
事業本部	17,617	10,797	163%
上津処理場	10,270	204	5,034%
八女処理場	6,940	-	-
南部 RC	17,318	10,782	160%
全体	**52,145**	**21,783**	**239%**

事業本部は空調機器の入替と LED 照明の交換を行い、期待以上の節電ができました。八女処分場は、繁忙期に一時的な就業時間の延長があり、目標を達成することができませんでした。上津処分場は、目標達成しましたが、実績との差が大きいので次年度は、これを踏まえた目標設定が必要と思われます。
引き続き、各箇所に啓発のステッカーを貼り、細やかな節電対策を習慣化します。

動力（処理施設における電力使用量）【kWh】

事業所	目標	実績	達成率
上津処理場	65,125	93,247	69%
八女処理場	1,246	31,314	3%
南部 RC	3,609	6,441	56%
全体	**69,980**	**131,002**	**53%**

●ガソリン・軽油の効率的使用

自社が排出する温室効果ガスは、車両・重機軽油の使用によるものが大部分を占めています。フクナン開発は、エコドライブの徹底や車両・重機の定期点検等に尽力すると共に、営業車は全て低公害車を使用し、配車効率を上げるためのシステムなども積極的に導入しています。

■エコドライブの徹底

ドライバー一人一人が無事故・無違反・エコドライブを意識した運転を日々心掛けています。また、ほとんどの運搬車両にデジタルタコメーターを装備しています。ドライバーは運行終了時に自らの１日の運行データを見直し、向上に努めています。

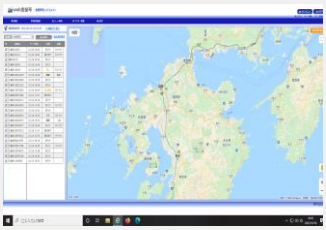
●主な取組

①車両軽油使用量の定期的掲示による周知と啓発
②月１回の自己エコドライブチェック

■配車効率の向上

配車効率向上を目指し、車両軽油使用量の定期的な掲示を行い啓発をすると共に、運行管理システムを導入し、日々効率の良い配車の段取りを考察しています。





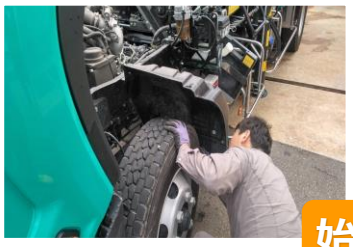
■車両運行管理システム

●主な取組

①無駄な燃料を使わないために効率の良い配車段取り設定を心がけ、実施する
②車両軽油使用量の定期的掲示による周知と啓発
③運転日報の記入

Topic エコドライバーの１日

出社 7:00



始業前に車両の簡易点検を行います。

始業前点検



エコドライブ

安全面や環境面を考え、日々運行しています。みんなで燃料消費の多い渋滞の情報を共有するなど、声を掛け合っています。更なるエコを実現できるよう頑張ります。



ドライバー主任
若菜　浩敦さん



毎日、自分の運行データをチェックし、無理のない運行ができているかを確認します。

運行データの確認

17:00 帰宅



体力面にも気を使っています。会社提携のジムで体を鍛えています。

体力強化

フクナン開発 エコドライブの心得

・ふんわりスタート
・適度な車間距離を保つ
・減速時は早めにアクセルを離す
・不要なアイドリングはやめる
・スピードを出しすぎない
・速度を一定に保つ
・早い段階でのシフトアップ

■車両・重機・リフトの定期点検・修理・管理の徹底

無駄な燃料の消費を防ぐため、始業前・1ヶ月毎それぞれにチェック表を設けるなど、点検作業をこまめに行っています。使用している重機についても、より燃費効率の良いものに順次入替の検討をしています。また、解体工事部においては、より環境意識の高い委託業者を選定するよう心掛け、直接の現場指導にも赴いています。





※重機点検の様子

●主な取組

①始業前点検・1か月点検・特定自主点検
②ディーラー点検・オイルの定期交換（営業車）
③EA21 委員会による点検簿チェック
④現場管理における点検の指導と徹底（解体部門）

■処理量・軽油使用量の処分場ごとの比較■



全体的に処理量に伴った軽油使用量の増減が見られますが、上津中間処理場は、6～8月辺りにかけて、処理量に相反して軽油量が大きく増加しています。近年、この時期は大雨による災害ゴミが多く搬入されています。その処理は困難なものが多く、重機の使用も増えてしまいます。悪循環にならないよう、環境の改善に一層尽力します。

■目標と実績及びその評価（2022年度）

ガソリン使用量（営業車）【L】

対象	目標	実績	達成率
営業車	2,370	4,753.44	49%
全体	**2,370**	**4,753.44**	**49%**

営業車は、全車環境に配慮した車を使用しています。現場や事務所の訪問数、またそれに要する距離などが大きく数値の増減に影響しています。コロナ対策も含め、リモートワーク等による営業を積極的に取り入れていく予定です。

収集運搬・搬出車両の燃費【km/L】

対象	目標	実績	達成率
収集運搬・搬出車両	4.28	4.11	96%
全体	**4.28**	**4.11**	**96%**

車両に関しては、より環境配慮された新しい車両に順次入替を進めています。（今年度4台入替）地元に根付いた企業を目指し、周辺地域の収集に特に力を入れたため、近距離かつ交通量の多い道路での走行が多くなり、燃費が下がりました。エコドライブの徹底、配車効率の見直しを行い、燃料消費量を最小限抑えられるよう努めていきます。

処理施設重機における軽油使用量【L】

事業所	目標	実績	達成率
上津処理場	**9,084**	**11,314**	**80%**
八女処理場	**29,410**	**68,760**	**42%**
南部RC	**34,431**	**67,078**	**51%**
全体	**72,925**	**147,152**	**49%**

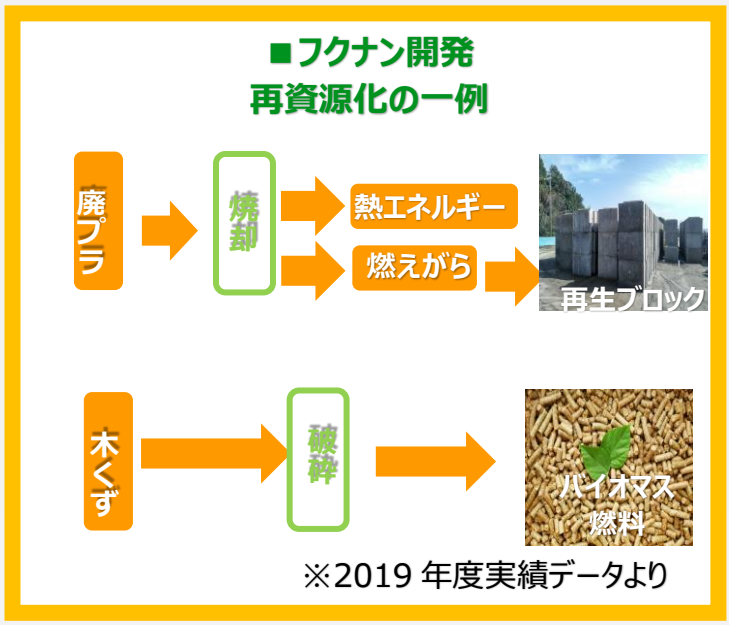
上津と八女は目標が達成できましたが、動力使用と同じく、全体的に軽油使用量も増加傾向に見られます。処理困難物をできる限り作らないように排出事業者の方々に選別の協力を求めていきます。また、未使用時のアイドリングや点検なども引き続き丁寧に行っていきます。

■「循環型社会」実現に向けた取組■

フクナン開発は、持続可能な社会のキーワードである３R（「Reduce」、「Reuse」、「Recycle」）に貢献できる会社を目指しています。

●「循環型社会」実現に向けて

近年、天然資源の枯渇や廃棄物処分場の不足などが世界的規模で問題視されています。フクナン開発は、中間処理・処分事業において、搬入された産業廃棄物の資源化率を、基準値（2018 年度実績）より毎年１％向上させることを目標としています。
また、自社から出る一般ごみの削減と水道使用量についても、基準値の１％削減を目指します。



●廃棄物排出量の削減

■電子媒体の利用による紙資源の削減

紙資源の削減と情報整理の利便性から、社内 SNS を利用した情報の伝達を行っています。排出業者の方々との連絡も FAX 利用を減らし、メールなどに切り替えをお願いしています。
また、SDGs へのアプローチとして電子契約・電子マニフェスト化の推進も積極的に行っています。

●主な取組

①電子媒体による情報伝達・ システムの構築・管理・周知
②メールやスキャンを利用した紙使用量の削減

■配車手配にも公式 LINE を利用

今まで TEL と FAX による配車の申し込みが主流となっていましたが、新たに SNS を利用した配車申し込みができるようになりました。

■再生品の利用徹底

社内におけるボールペンなどの事務用品は、詰め換え用品があるものを使用し、ごみの削減に務めています。
また、社内資料は可能な限り裏紙を利用しています。

●主な取組

①詰め替え用品の利用の徹底



■事業所一般ごみの削減、分別・リサイクルの推進

事業所の一般ごみを削減するため、持ち帰りごみの推進やマイ箸の持参など、従業員一人一人に意識を求めています。

●主な取組

①可燃ごみ・不燃ごみ・資源ごみの分別
②事業所ごとのごみ排出表の記録
③ＥＡ21 委員会による記録簿チェック
④持ち帰りごみ・洗い替え容器使用の推進

●水道使用量の削減

上下水道の使用は、主に事務所内のトイレや飲料水、掃除などの一般使用が主となります。節水のためにトイレの流水回数を減らすなどの啓発をしています。八女処分場においては水資源はすべて井戸水か河川によるものです。車両の洗浄、散水などは各処分場に井戸が引かれており、そちらを使用するなど、用途により区別を徹底しています。

■上水道・トイレなどの一般使用水の節水

●主な取組

①トイレの流水回数の削減
②水道蛇口の漏水確認

■自然水の利用

●主な取組

①散水や洗車における井戸水や河川水の利用

■各所に貼られた啓発ステッカー





環境目標を達成するには、社員が一丸となって活動に取り組むことが大切です。
各所にステッカーを掲示し、利用者にわかりやすく取組みの内容を伝えています。

■目標と実績及びその評価（2022 年度）

コピー紙使用量【枚】

対象	目標	実績	達成率
全体	106,700	111,000	96%

裏紙の使用が定着し、コピー紙の使用を減らすことができました。今後は、取引業者の方々との連絡もメールや SNS などの電子媒体を利用できるよう協力を訴えていきます。

事務所一般ごみ量 【㎥】

対象	目標	実績	達成率
全体	56.59	58.34	97%

一般ゴミは、持ち帰りや再生品利用によって削減ができていています。書類を電子媒体にすることで、更なる削減が可能であると考えます。業務システムの導入なども検討中です。

上下水道使用量 【㎥】

事業所	目標	実績	達成率
事業本部	142.59	147	97%
上津処理場	25.71	26.5	97%
南部 RC	34.92	36	97%
全体	203.22	209.5	97%

一般使用においては啓発のステッカー等を掲示し、きちんと節水ができています。事業活動における水道使用において、散水や洗車は井戸水を利用していますが、使用が混雑する時間帯には水道水を利用して行っています。今年度は自然水の利用における効率が悪かったことが数字に大きく影響しました。自然水を最大限利用できるよう、散水と洗車のローテーションを各処分場にて検討していきます。

●受託した産業廃棄物・解体廃棄物の資源化率の向上

SDGs の普及、企業 CSR 活動の定着などにより、排出される産業廃棄物の再資源化への要求は年々高まっています。フクナン開発は、自社中間処理を充実させるとともに、処理費の差別化を行うなどして、排出業者の方々にも積極的なごみの分別を促しています。また、中間処理を外部に委託する場合には、定期的な現地視察も行っております。

■受託した産業廃棄物の処理量

※2022 年度実績データより

品目	中間処理	中間処理後の廃棄物	処理量（㎥）
燃え殻	選別	管理型埋立	1,224.5
		再生ブロック	492.8
汚泥	焼却	再生ブロック	31.5
廃プラスチック類	選別・破砕・焼却	管理型埋立	5,149.9
		固形燃料・再生ブロック	3,058.8
紙くず	選別・破砕・焼却	有価物売却	80.2
		固形燃料・再生ブロック	1,714.7
木くず	選別・破砕・焼却	再生チップ・固形燃料・再生ブロック	6,400.7
繊維くず	選別・破砕・焼却	固形燃料・再生ブロック	4,346.7
ゴムくず	選別・焼却	固形燃料・再生ブロック	0
金属くず	選別・破砕	有価物売却	6,409.9
ガラスくず等	選別	再生ブロック	492.8
廃石膏ボード	選別・破砕	固化剤・土壌改良材原料	2,301.8
がれき類	選別	再生ブロック	6,338.9
廃塗料	混練	管理型埋立	7.3
		再生重油	0
動植物性残さ	焼却	再生ブロック	27.6
乾電池	破砕	【廃プラスチック類】再生ブロック	6.4
		【金属くず】有価売却	
		【汚泥】再生ブロック	
蛍光管	破砕	【ガラスくず】再生ブロック	36.1
		【金属くず】有価売却	
		【蛍光粉】再生水銀	
混合物（安定型）	選別	安定型埋立	982.2
		再生ブロック	0
混合物（管理型）	選別	管理型埋立	1,517.2
		固形燃料・再生ブロック	10,460.2

徹底した選別作業を行い、再資源化率を向上できましたが、そのために燃料使用量・電気使用量が大きく増加する結果となりました。廃棄の段階で、きちんとした選別をされるよう、排出業者の方々の協力を訴えていきます。

		処理量	比率
小計	リサイクル(資源化)	42,199 ㎥	82.6%
	最終処分（埋立）	8,881.1 ㎥	17.4%
合計		51,080 ㎥	100%

■「自然共生社会」実現に向けた取組■

フクナン開発は、美しい自然、豊かな生態系、住みよい地球環境を次世代に残していく活動を大切にしています。

●「自然共生社会」実現に向けて

フクナン開発は、事業から出るアウトプットを考察し、温室効果ガス以外にも地球に対する環境負荷となる要因を削減する努力を続けていきます。
豊かな生態系を守るため、汚水の削減や、ごみの最終処分量の削減、周辺環境に配慮した騒音や異臭の削減、埃や粉塵などの防止を主な活動項目としています。

■事業における環境負荷となるアウトプット



●受託した産業廃棄物・解体廃棄物の最終処分量の削減

■選別の徹底

各処分場において作業員一人一人が丁寧な選別作業を行い、最終処分量の削減を行っています。また、リサイクルをしやすいように破砕、圧縮梱包（本格稼働は次年度）などの中間処理設備の充実も図っています。
同時に、排出業者の方々にも捨てる際に分別の協力をお願いしています。

●主な取組

①排出業者に対する選別意識の啓発
②中間処理場での分別の徹底

■処理工程の定期的見直し

自社で中間処理した産業廃棄物の再委託先には、リサイクルが可能な処理業者を選定しています。また、定期的な視察と情報収集、処理フローの見直しを行っています。





※処分場視察の様子

●主な取組

①委託処理業者の定期的視察・情報収集
②処理フローと数値の把握

●排水に対する環境配慮

事業から出る排水と一般使用における排水において、汚水を削減できるように日々心掛けています。洗剤の使用を控えるなどの啓発の他に、処理場周辺の定期的な排水路の点検、清掃などを行っています。

■洗剤や食べ残しごみ、油などによる汚水流出の削減

●主な取組

①洗剤の使用削減
②機械油・食用油の流出防止
③シンクの排水溝の定期的清掃

■地下水使用による排水路の徹底清掃

●主な取組

①週 1 回の排水路の徹底清掃
②周辺の衛生管理
③井戸水使用量の把握

■定期清掃

処理場周辺道路の清掃

週 1 回処理場の周辺道路を当番制で清掃しています。受入ごみの飛散などがないか等もこまめにチェックをしています。



＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

排水路の清掃



各処分場は節水のために地下水を利用しています。排水路は衛生のために、週 1 回の清掃を頑張っています。

●事業活動における環境保全

事業活動を行っていく上で、周辺の環境に対する配慮は必要不可欠です。フクナン開発は定期的に自社の事業活動全体を見直し、充分な環境保全が行われているかを検討しています。また今後は、自社に寄せられた声などがあれば社内で情報を共有し、その取組結果を公表するなど、外部発信にも力を入れていく予定です。

■解体現場・産廃処理による埃・粉塵などの飛散防止

●主な取組

①1 日数回の散水（雨天時を除く）
②適切な養生措置

【解体工事部】
①現場管理における散水・養生の指導と徹底





※散水の様子

■会社周辺の定期的清掃活動の実施

●主な取組

①週 1 回の前面道路の清掃
②清掃チェック表の記録
③ＥＡ21 委員会による記録簿チェック

■解体現場周辺の清掃

●主な取組

①現場管理における指導と徹底

■排出ガス・騒音・振動の配慮

●主な取組

①低排出ガス・低騒音・低振動の機械の優先的利用
②エコドライブの徹底
③環境配慮車両の導入

【解体工事部】
①より環境配慮に積極的な業者の選定
②現場管理における指導と徹底

■解体工事部門におけるリサイクルの徹底及び環境への配慮

■粉塵対策

工事中は水撒きを徹底し、防塵シートによる養生などの飛散物対策をとっています。また、前面道路、隣地境界の清掃を徹底しています。



■振動対策

場内及び現場への出入り時には低速走行を徹底し、重機の使用時にも極力余分な力をかけないよう操作するなど、振動の発生を最低限に抑える配慮をしております。



■防音対策

低騒音の重機を使用しています。その他にも防音シートを併用するなど、騒音への対策を徹底しておこなっています。



■廃棄物のリサイクル

事故防止の為に、作業場内をきれいに清掃し、廃材を整理しています。解体工事で出た廃棄物は可能な限り選別してリサイクル処分を行っています。



■法令の遵守

工事看板の設置や届け出、石綿含有物の取扱いなど法令を遵守し、適正な作業と処理を行っています。



■監督と指導

工事開始時には必ず作業内容の確認を元に安全ミーティングを行っています。また、重機のアイドリングなど、作業中のエコ活動についても細かく指導をしています。



****

工事期間中は毎日現場に足を運び、安全対策や環境対策、法令の遵守など現場の状況を細かくチェックし、指導・改善の指示をしています。
エコ活動においても、元請者として模範を示せるよう頑張っていきます。



解体工事部門
責任者
鵜川　昌治さん

Topic フクナン開発エコ宣言

フクナン開発は、従業員一人一人が、環境に配慮した行動に意識して取り組むことが大切だと考えます。そこで部門ごとにエコ宣言を行い、環境活動に取り組んでいます。





■地域・社会への貢献■

地域とのコミュニケーションを大切にすると共に、社会的責任の一環として積極的に地域への貢献活動やボランティア活動を行っています。

●地域社会そして国際社会の一員として

フクナン開発は、地域の方々に信頼され、親しまれる企業であるために、さまざまな社会貢献活動を続けています。災害ゴミや海洋ゴミの回収など、産廃業としての自社の事業特性を活かした貢献活動の他にも、使用済み切手の収集・寄付など、社員一人一人が主体となった身近な取組みも大切にしています。
また、近年はSDGsにも積極的に賛同し、世界の持続可能な発展と平和のためにフクナン開発ができることを真剣に考え、様々な試みを検討しています。

●地域への貢献

処分場周辺の清掃はもちろん、道路脇のポイ捨てゴミを拾うボランティア活動も定期的に行っています。

■会社周辺の定期的清掃活動の実施

●主な取組

①週 1 回の前面道路の清掃
②清掃チェック表の記録
③ＥＡ21 委員会による記録簿チェック

Topic 身近な自然を考える

フクナン開発が処分場を構える八女市は、美しい自然と豊かな生態系、豊富な農産物に恵まれた地域です。これらを後世に残していくために、事業における環境負荷には最大限の配慮が必要であると考えます。環境への取組みを大切にし、地域の皆さまと共に持続的に発展する企業を目指しています。

八女市の生態系（「八女市環境基本計画【平成 29 年 3 月/八女市発行】」より抜粋）

■生態系の保全
市域のほとんどは矢部川流域となっており、流域内の広い範囲が自然公園に指定され、「矢部川県立自然公園」、「筑後川県立自然公園」に属しています。矢部川源流から、日向神ダムを経て山間部を縫うように流れる様子は、美しい渓流景観を呈しています。
水際には、ツルヨシが繁茂し、水域にはアカザやカジカをはじめとする希少種やサワガニなどが生息しています。



■全国でも有数のお茶の産地でもある八女市。
気候条件、土壌条件ともに恵まれた環境で栽培された八女茶はその上質な味わいから市場でも高く評価されています。
一面に広がる鮮やかな緑の景観も美しいです。

■人と自然が共生する里地・里山
福岡県レッドデータブック 2011、2014 によると、八女市で確認されている希少野生生物は、植物群落 13 群落、維管束植物 73 種、哺乳類 4 種、鳥類 3 種、爬虫類 2 種、両生類 8 種、魚類 23 種、昆虫類 74 種、貝類 9 種、クモ型類 1 種となっています。
そのうちの一つであるオグラコウホネは、星野村の星のふるさと公園内にある『麻生池』に自生しており、県の天然記念物にも指定されています。
矢部川流域の上流部は、キャンプ地が多く、釣りや自然散策等に利用されています。
また、神々の伝説を秘めた日向神峡の景勝地をさらに上った源流では、生きものが持つ個性とつながりを体感し、生物多様性を認識するために水生生物を調査することもたちの姿も見られます。



■福岡県で一番広い森林面積を有し、良質な木材の生産地でもあります。
また、近年は豊かな自然が様々な治癒効果をもたらすことが注目され、森林セラピー基地としての認定も受けています。



■オグラコウホネとは、「星のふるさと公園」池の山キャンプ場の「麻生池」で見ることが出来るスイレン科の多年草です。県の天然記念物に指定され、環境省のレッドデータブックにも掲載されている絶滅危惧種です。

●社会への貢献

近年、地球温暖化による気候変動の影響などで我が国の台風・豪雨災害等の自然災害が激化しています。さらに現在も巨大地震や火山の噴火など多くの災害が起こる危険性を秘めており、その被害も甚大なものになることが予想されています。
フクナン開発は環境を悪化させないためにしっかりとした環境意識持ち努力を続けると共に、万が一災害が起こった場合には、その復興支援に尽力しています。
また、世界的問題となっている海洋ゴミの積極的な回収・処理も行っています。

●ボランティア団体への助成活動

国際貢献活動の一環として、使用済みの切手を回収し、ラジオ局を通じ、ボランティア団体に寄贈しています。
（新型コロナウイルス感染拡大により回収先の受付が休止されたため、今年度は寄贈を見送りました）

■使用済み切手の社内回収・寄付

●主な取組

①回収箱の設置
②年 1 回担当者による送付





■事務所に使用済の切手回収箱を設置しています。

Topic 使用済み切手運動

集められた使用済み切手などは、日本国内や海外のコレクターが購入。その収益が様々なボランティア活動の資金となっています。

約 5,000 枚
タンザニアで約 1 年分の看護学校の教科書代に相当

約 22,000 枚
ウガンダで助産師学校の1ヶ月間の学費に相当

約 80,000 枚
バングラデシュで理学療法の技術や理論を学ぶ研修費用に相当

環境関連法規への違反・訴訟の有無

	関連法規	遵守事項	適・否
一般廃棄物収集運搬と産業廃棄物収集運搬業・処理業	フロン排出抑制法	・第１種特定製品の管理者の判断基準となるべき事項、管理第１種特定製品の点検、引取証明書　ほか	適
	浄化槽法	・浄化槽管理者の法定検査、保守点検の実施　ほか	適
	騒音規制法	・特定施設事前届出、変更届　ほか	適
	振動規制法	・特定施設事前届出、変更届　ほか	適
	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	・排出事業者の責務、処理業の許可、管理票、特別管理収集運搬業の許可　ほか	適
	使用済自動車の再資源化等に関する法律	・自動車所有者の責務、関連事業者による再資源化の実施　ほか	適
	消防法	・消火の活動、消防用設備等設置　ほか	適
	消防法施行令	・消火器具に関する基準	適
	八女地区消防組合火災予防条例・久留米広域市町村圏事務組合火災予防条例	・綿花類等の貯蔵及び取扱いの技術上の基準等 ・指定数量未満の危険物等の貯蔵及び取扱いの届出等 ・火災等の通報場所　ほか	適
	福岡県公害防止等生活環境の保全に関する条例	・地下水の水質の保全 ・水質事故時の措置	適
	八女市環境保護条例	・事業者の責務、産業廃棄物処理施設の届出　ほか	適
	福岡県産業廃棄物処理施設の設置に係る紛争の予防及び調整に関する条例・久留米市産業廃棄物処理施設の設置に係る紛争の予防及び調整に関する条例	・設置者及び周辺住民の責務 ・調査計画届及び環境調査書の提出 ・公告及び縦覧 ・説明会の開催等 ・見解書の提出等 ・調査計画届等の変更の届出等	適
	福岡県産業廃棄物の不適正処理の防止に関する条例・久留米市産業廃棄物の不適正処理の防止に関する条例	・排出事業者の講ずべき措置 ・中間処理業者の講ずべき措置等 ・産業廃棄物の性状等に関する情報の提供　ほか	適
	大気汚染防止法	・粉じんの規則（事前調査・説明、作業基準順守）	適
解体業	騒音規制法	・騒音の規制基準、事前届	適
	振動規制法	・振動の規制基準、事前届	適
	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	・排出事業者の責務、管理票、建設工事に伴い生ずる廃棄物の処理責任　ほか	適
	建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律	・分別解体工事等の実施 ・再資源化等の実施　ほか	適
	石綿障害予防規則	・事前調査、作業計画、届出、作業場所の隔離　ほか	適

当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、過去３年以内における２か月以上にわたる行政機関から営業停止等の措置はありませんでした。
また、関係機関等からの指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした。

次年度の環境経営目標と環境経営計画

Ⅰ.「低炭素社会」実現に向けた取組

環境目標	該当事業所	数値の根拠【単位】	R4 年度【目標】	R4 年度実績	R4 年度達成率	次年度の目標
二酸化炭素排出量の削減	全社	Kg-CO_2	877,559	1,045,207	83.96	1,034,755

環境目標	対象	該当事業所	数値の根拠【単位】	R4 年度【目標】	R4 年度実績	R4 年度達成率	次年度の目標
電気使用量の削減	電灯	全社	【kWh】	52,145	21,783	239%	21565.17
		事業本部	【kWh】	17,617	10,797	163%	10689.03
		上津中間処理場		10,270	204	5,034%	201.96
		八女中間処理場		6,940	—	—	—
		南部ﾘｻｲｸﾙｾﾝﾀｰ		17,318	10,782	160%	10,674.18
	動力	全社	電気使用量【kWh】	69,980	131,002	53.4%	129,691.98
		上津中間処理場	各処分場の電気使用量【kWh】	65,125	93,247	69.8%	92,314.53
		八女中間処理場		1,246	31,314	3.9%	31,000.86
		南部ﾘｻｲｸﾙｾﾝﾀｰ		3,609	6,441	56%	6,376.59
ガソリン使用量の削減	営業車	事業本部	ガソリン使用量【L】	2,370	4,753.44	49.8%	4,705.91
軽油使用量の削減	車両	全社	全収集運搬車両の平均燃費【㎞/L】	4.28	4.11	96%	4.15
	重機	全社	軽油使用量【L】	72,925	147,152	49.5%	145,680.48
		上津中間処理場	各処分場の軽油使用量【L】	9,084	11,314	80.2%	11,200.86
		八女中間処理場		29,410	68,760	42.7%	68,072.40
		南部ﾘｻｲｸﾙｾﾝﾀｰ		34,431	67,078	51.3%	66,407.22

Ⅱ.「循環型社会」実現に向けた取組

環境目標	該当事業所	数値の根拠【単位】	R4 年度【目標】	R4 年度実績	R4 年度達成率	次年度の目標
コピー紙使用量の削減	全社	コピー紙使用量【枚】	106,700	111,000	96%	109,890
事業所一般ごみの削減	全社	【㎥】	56.59	58.34	97%	57.76
中間処理量に対する資源化率	全社	【%】	96.93	82.6	85%	83.43
水使用量の削減	全社	【㎥】	203.22	209.5	97%	207.41
	事業本部	【㎥】	142.59	147	97%	145.53
	上津中間処理場		25.71	26.5	97%	26.24
	南部ﾘｻｲｸﾙｾﾝﾀｰ		34.92	36	97%	35.64

※解体工事は外部委託のため、数値目標を設けておりません。
※電力の二酸化炭素排出係数は、日田グリーン電力 2021 年度調整後排出係数 0.037 kg-CO_2を使用しました。
※化学物質使用の実績はありません。
※環境経営活動計画についての変更はありません。

代表者による全体の取組状況の評価及び見直しの結果



■2022 年度環境経営活動の実績と結果について■

近年企業の環境意識が高まり、廃棄物の再資源化が強く望まれるようになった。このような状況を鑑み、フクナン開発も再資源化率を向上にするために様々な中間処理設備の導入を検討している。また、気候の変動等により、処分場での作業は年々厳しさを増しており、職場環境の改善にも力を入れている。環境に対しての負荷を最低限に抑えながら変革を行っていくためには、無駄なエネルギー消費をきちんと抑えていくことが大切である。引き続き、一人一人の省エネ活動を強くお願いしたい。

●「低炭素社会」実現に向けての取組●
弊社が排出する温室効果ガスのほとんどは収集運搬車両及び重機の軽油使用によるものである。前年度から弊社は効率の良い配車や運行を実現するためにデジタルタコメーターを全運搬車両に搭載している。これらを最大限に活用し、ドライバー及び重機運転者にはより一層の排出ガス削減を実現してほしい。エコドライブや車両点検による無駄な燃料消費の削減を実現することは、地球温暖化に貢献するだけでなく、事業の経費削減にもつながることも強く訴えかけていく。

●「循環型社会」実現に向けての取組●
廃棄物の再資源化率向上を段階的に進めており、今年度は中間処理後の再委託先の見直しと徹底した選別作業で大きく目標を上回ることができた。しかしその反面、選別に要した動力や軽油の使用量が増加し課題となっている。やはり事業者の方々に廃棄の段階で、きちんと分別をしてもらえることが、最も簡単で、最も環境負荷を少なくできる方法と考える。今後も一層排出事業者の方々に分別の協力を呼びかけていく。次年度からは上津中間処理場にて破砕、圧縮梱包の新設備が本格稼働し、更なるリサイクル化が期待できる。

●「自然共生社会」実現に向けての取組●
場内や解体現場での清掃や粉塵対策には全社員で取り組み、近隣からの苦情等もなかった。この状態を維持できるよう今後も活動を頑張っていく。

●地域・社会への貢献●
今年度も災害による被害が相次ぎ、問合せ等も多かった。可能な限り、復興の一助となるよう、災害ゴミの積極的な受入をしていく。
ボランティア活動なども色々なアイデアを出し合い、充実を図りたい。



■環境経営システムについて■

EA21 委員会は各処分場、各部門から責任者が参加し、それぞれの問題点を検討し合うなど、環境経営計画の策定や活動の評価にきちんと機能できたと思っている。ステッカーの掲示など啓発にも力を入れたが、コロナの影響などもあり、直接の全体周知の機会が少なかったように感じられる。エコ活動において、もっと積極的なリーダーシップを期待する。
また、活動の結果は曖昧にせず、丁寧に分析し原因を究明するように指示をした。EA21 委員会で対応策を検討し、取組の中にもしっかりと反映してほしい。



■環境方針・環境目標・環境活動計画について■

今年度は環境活動を一から見直し、環境経営方針・環境経営目標及び計画を一新した。「低炭素社会」「循環型社会」「自然共生社会」3 つの社会の実現に向けて、それぞれに細かく取組目標を設け、目標の実現を社員一丸となって目指した。また、SDGs にも積極的に取り組んでいる。
施設の変更や設備投資などで、目標の数値と結果が大きく離れてしまったが、実態に近い形で活動の指標を示せるよう、年度ごとの目標値の見直しを指示した。